

# 道徳学習指導案（2年〇組）

- 1 主題名 法やきまりの意義（内容項目4－(1) 遵法、社会の秩序と規律）  
（資料名 「ラッキーなはずなのに（自作資料）」）

## 2 主題設定の理由

### (1) ねらいにかかわる生徒の実態

中学生の時期には、生徒たちは独立心が旺盛になり、規則やきまりについて自分を束縛するものとしてのイメージが強くなっていく。また、明らかに人に迷惑を掛けるきまりは守ろうとするが、身だしなみや服装など、直接周囲に迷惑を掛けてないと感じるものに関しては、守ろうとする意識が低かったり、見つからなければ守らなくてもいいのではないかと考えたりすることもある。普段の生活の中で何かを判断する時に、友達ときまりの間に挟まれた場合には、きまりを守らないことで起こる可能性について深く考えずに、友達を優先してしまうこともある。このような生徒たちに、資料を通してきまりの意義を理解し、社会の秩序と規律を高めるために必要なことを考え、行動しようとする態度を育むことは、たいへん意義のあるものであると考える。

### (2) ねらいとする道徳的価値について

4－(1)は、法やきまりの意義を理解し、進んで守るとともに、自他の権利を大切にして義務を果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める生徒を育てようとする内容項目である。

中学生になると、社会の仕組みもある程度理解できるようになり、義務感と正義感を身に付けている生徒がいる。しかし、一方で法やきまりは自分を束縛するものとして疎ましくとらえていたり、権利は強く主張しても、義務をなおざりにしたりすることも見られる。そこで、法やきまりは自分たちの生活や権利を守るためにあり、それを進んで守ることで秩序と規律のある社会が実現されていくということを、深く考えられるように工夫することが必要である。

### (3) 資料について

本資料「ラッキーなはずなのに」は、違法とは知りながら、録画したアニメを再編集して動画共有サイトに投稿している僕が、同じ事をしていた親友からもう投稿することはやめると告げられる。後日僕は、欲しかった本の内容がほぼ見られるという違法なサイトを見付けるが、その本を購入していた親友A男の言葉を思い出し、閲覧しようか迷ってしまうという内容である。法やきまりについて「ルールだから守る」という他律的な考えから、相手を思いやる気持ちや「自分を裏切らない」という自尊心との関わりに気付きながら「尊重したいから守る」という自律的に考えられるようになる資料である。

## 3 指導方針

○情報モラルに関わって、動画共有サイトの違法動画や出版物の違法アップロードなど、著作権について扱う。なお、著作権そのものを学習する内容にならないようにする。生徒が日常で使っている動画共有サイトを扱うことで、資料の中のできごとを身近で起こりうることとして、資料の登場人物と自分とを重ね合わせて考えられるようにする。

○展開後段では、インターネットを利用するに当たってのいろいろな法やきまりとの関わり方について、自分の生活を振り返り、今後の思いや課題を自覚できるようにする。

## 4 研究との関わり

本研究では、「道徳の時間のための情報モラル自作資料集の作成と活用」を研究主題とし、「生徒の道徳的価値の自覚を深める指導の充実を目指して」を副主題に研究を進めてきている。生徒にとって身近に感じる情報モラルに関わる資料を活用しながらも、問題の根底にある道徳的価値について、考えが深められたかどうかを検証する。

## 5 情報モラル教育との関わり

本時に関わる情報モラル教育の指導事項は、「すべての先生のための『情報モラル』指導実践キックオフガイド」（2007）と、それを基に作成された「情報モラル教育実践ガイダンス」（2011）に示された、「心を磨く領域」の「法の理解と遵守」分野、「c4-1違法な行為とは何かを知り、違法だとわかった行為は絶対に行わない」「c4-2情報の保護や取扱いに関する基本的な法律の内容を知る」である。

## 6 本時の展開

- (1) **ねらい** 法やきまりの意義を理解し、よりよい社会の実現に向けて、自分に課せられた義務を確実に果たそうとする態度を育てる。
- (2) **準備** 読み物資料 ワークシート
- (3) **展開**

学習活動	時間	主な発問 (・予想される児童の反応)	支援及び指導上の留意点 (太字は情報モラルに関わる内容)
1 本時の学習課題をつかむ。	5分	○学校のきまりで禁止されていることを友達から誘われたらどうするかこれまでの生活を振り返る。 ・絶対に守る。 ・たぶん守る。 ・学校のきまりだけどたぶん守らない。	○生徒の意識や身近な問題について、事前のアンケート結果から、価値への方向付けを図る。
2 資料「投稿してみたものの」をもとに、登場人物と自分を重ね合わせながら話し合う。	30分	○違法と知りながら、動画を投稿していたときの僕は、どんなことを考えていただろう。 ・みんなやっていることだからいい。 ・みんなの評価が嬉しい。 ・別に迷惑はかかっていない。 ・削除されたら気をつけよう。 ○A男から、動画の投稿をやめたことを伝えられたとき、「僕」はどんなことを考えただろう。 ・そうなんだ。 ・僕もやめた方がいいかな。 ・僕はやめないけれどね。 ◎閲覧するためのクリックがなかなかできないで迷っている僕は、どんなことを考えていただろう。 ・クリックすると、作者の権利を奪ってしまうかもしれない。 ・見たいけれど、作者に申し訳ないしよくないかもしれない。 ・自分にも作者を応援したい気持ちはあるから、見るのはよくない。	○きまりを守らないのはよくないことだとわかっていても（価値理解）、自分に都合のいい解釈で、つい破ってしまう「僕」の弱さ（人間理解）に目を向けさせるようにする。 ○動画共有サイト内での著作権に関わることについて、簡単に説明する。 ○A男の話聞いても、著作権について深く考えておらず、まだ自分もやめるとはっきり決めていない「僕」の弱さに目を向けさせるようにする。 ○違法サイトとわかっていても、閲覧するだけなら大丈夫であろうという思いと作者の著作権を守らなくてはという思いを自分との関わりで考えさせ、価値理解、人間理解、他者理解を深められるようにする。 ○迷っているのは、作者を応援したい自分を裏切りたくないからであることに気付けるようにする。
3 本時で考えたことを振り返り、発表する。	10分	◎インターネット上の法律やきまりはなぜあるのか。また、それらについて、自分自身が守れているものや守れていないものを振り返って、どうすれば守れるようになるか、考えま	○インターネットを利用するに当たっての法やきまりとの関わり方について自分の生活を振り返り、今後の思いや課題を自覚できるようにする。

		しょう。 ・その人の生活を守るためにある。著作権を破られると、作者の収入が減ってしまう。音楽などを違法コピーして友達に配ってしまった。作った人の努力や気持ちを考えていきたい。	
4 私たちの 道徳を 読む。	5 分	○私たちの道徳 134ページを読む。	○権利や義務の側面から法やきまりを捉えさせ、義務を果たしていこうとする態度を育てたい。

「ラッキーなはずなのに」

僕は、漫画やアニメが大好きだ。でも、そればかりっていう訳ではない。スポーツ番組だっけ見るし、体を動かすことだっけ大好きだ。本当は、受験に向けて勉強をしなければいけないのだけれど、勉強ばかりでは息が詰まってしまうから、時々別のことをするんだ。そう、自分に言い聞かせている。ここ最近夢中になっているのは、動画共有サイトに作品を投稿することだ。

作品とはいつても、僕の場合、録画したアニメのかわいいシーンだけをつなげて音楽を乗せたものだ。初めのうちは、いくつか作って仲間に見せ合っていただけだった。それが最近では動画共有サイトに投稿している。やっぱり、仲間内だけだと、見せられる範囲が限られているからだ。自信のある作品は、もつとたくさんの人に見てもらって反応が知りたくなる。表現者としては当然のことだ。ただ、そうすると、問題も出てくる。使っている音楽については、著作権フリーの素材だから大丈夫なんだけど、動画そのものについてはやはりかもしれない。

著作権を侵害しているとはなんとなく分かる。でも、動画共有サイトを見てみれば、僕と同じ事をしている人はたくさんいるし、その中で削除される作品もあれば削除されない作品もあるのも知っている。基準はよくわからない。そんな中で、僕なんかよりセンスのいい動画を見つけると競争心をあおられるのも事実だ。

みんなやっていることだし、最近ではあまり深く考えずに作品作りに集中している。投稿した動画を見た人のコメントを読むのがとても楽しい。褒めてもらえる、自分が認めてもらった充実感でいっぱいだ。だって、コメントの数が、僕の通っている学校の全校生徒の数より多いなんて、ネットでなければ味わえないことだから。



そんなある日の放課後、同じように動画共有サイトに投稿している親友のA男が僕に言ってきた。

「俺さ、動画を投稿するのめつやめたよ。」

「何で？やっぱり著作権とか？でも、みんながやっていることだよ。」僕は、この前A男が運営サイトから動画を削除されたことを思い出していた。

「うん、それもあるんだけどさ、この前俺が大金出して買った本があつたら？」

A男は、この前かなり高い本を買った。それは、ある漫画の設定資料集で、登場するロボットの関節の仕組みがどうなっていて、動くときにどうなっているかとか、キャラクターの着ている服が、どんな素材でできていて、どんな縫い方をしているかなど、作者が考えたことが事細かに記されているものだった。

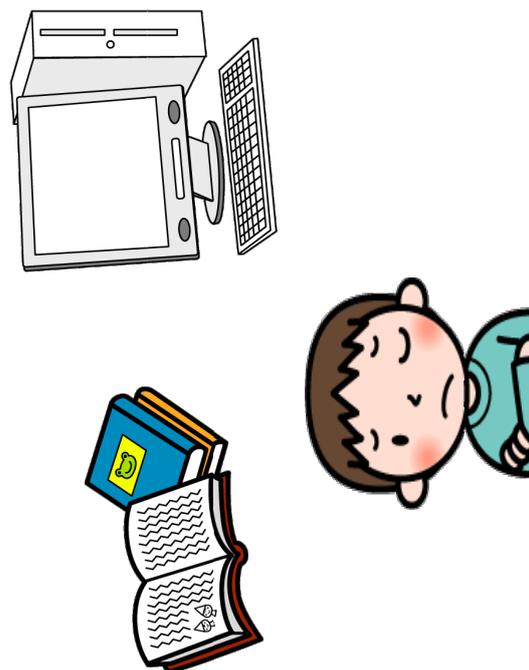
かなりマニアックな内容だと思っただけで、これまでも何冊か出版されていた。僕も好きな漫画だったので欲しいとは思っていたけれど、あまりの金額の高さに手が出なかった。A男は続けた。

「あの本の中に作者の言葉があったんだよね。『漫画だけ欲しいといるを、こんな設定資料集まで買ってくれてありがとう。もっと安くならないのか？』という問い合わせが毎回たくさんありますが、なりません。人が必死で考えて制作した作品にはそれなりの価格がつけられると考えています。こんなわがままな作者ですが、必ず、次の作品でも皆さんのひつくりするようなものをお届けします。』ってね。なんか、それ読んだらこういう人のことを応援したくなっちゃって、何ができるかなって考えたんだ。」

その日の夜、ネットを検索していたら、偶然だけどA男が買ったという設定資料集がほぼ丸ごと読めそうなサイトが見つかった。もちろん違法だ。買った本をスキャナで読み込んでデジタルデータにしたんだらう。画像としてサイトに投稿した人が悪いに決まっている。しきに削除されるに違いない。ただ、見るのはどうなんだらう？今まで、こんなサイトで見ているか悪いかなんて考えたこともなかった。気になったので、すぐにネット検索して調べてみる。一つのサイトだけではよくわからないから、いくつか調べてみる。

そうだ、やっぱり大丈夫だ。違法な動画や音楽をダウンロードするのはよくないけれど、見るだけならば問題ない。悪いのは違法にアップロードした人だ。見るだけならば問題ない。見るだけなら……

だけど、いつもはすぐにクリックしている人差し指が、今はなかなか動かさないでいる。こんなサイトが見つかってクリックははずなのに。

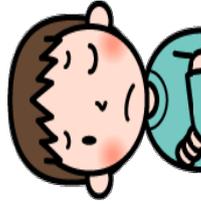
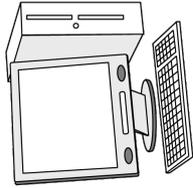


# 「クリックはなぜなの？」

組 番 氏 名

月 日

せまりは、何のためにあるのか考えよう



○閲覧するためのクリックがなかなかできなくて迷っている僕は、どんなことを考えていただけるか。

---



---

○インターネット上の法律やせまりはなぜあるのでしょうか。また、それらについて、自分自身が守れているものや守れていないものを振り返って、どうすれば守れるようになるのか、考えましょう。

---



---



---



---

○家族人からのコメントを書いてみましょう。

今日の振り返り

A 当てはまる B どちらかといえば当てはまる C どちらかといえば当てはまらない D 当てはまらない

私は、この時間、発言しようとしていた。

私は、この時間、しっかり考えようとしていた。

私は、この時間、友達の発言をしっかりと聞いていた。

A B C D

A B C D

A B C D

# 道徳学習指導案（3年〇組）

- 1 主題名 思いやる心（内容項目2－(2) 人間愛、思いやり）  
（資料名 「これでよかったのかな？（自作資料）」）

## 2 主題設定の理由

### (1) ねらいにかかわる生徒の実態

中学生の時期には、相手の立場を尊重して関わりを持つことの大切さを理解できるようになっている。しかし、スマートフォンを使ってのインターネット上のコミュニケーションが頻繁にとられるようになるなど、人との直接的な関わりが減ってきている。無料通話アプリでは、他の人との繋がりを気軽に持てるようになるものの、その関係は希薄であり、短文によるやりとりのため、誤解が生じたり、同調圧力が生じて必要以上に相手を傷つけてしまったりすることがある。自分が傷つかないために、より強い言葉を使ったり、反撃したりするなど、自己中心的になりやすく、他を省みない行動に走る場合がある。このような生徒たちに、思いやりの大切さに気付かせるだけでなく、自分も相手もかけがえのない人間であり、お互いを尊重することの大切さを自覚できるようにすることは大変意義のあるものであると考える。

### (2) ねらいとする道徳的価値について

2－(2)「温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ」は、単に思いやりの大切さに気付かせるだけでなく、根本において自分も他の人も、ともにかけがえのない人間であるということを自覚できるようにするという内容項目である。

人間愛の精神は、お互いの存在を、強さも弱さも持ち合わせた人間として、肯定的に受け止めようとするものであり、他の人への思いやりの心を通して現れる。他の人の思いやりに触れ、それを素直に受け止めたとき、人は自然と感謝の気持ちを持つ。そして、今の自分は多くの人に支えられてきたからであることを自覚するようになる。思いやりとは、「助けてあげる」「親切にしてあげる」など、相手がかわいそうだからという単なるあわれみではない。根底に相手を尊重する気持ちを持ちながら、親切にし、いたわり、励ますといった態度を育てることは大切であると考えられる。

### (3) 資料について

本資料「これでよかったのかな？」は、無料通話アプリを使ったグループトークの中で、本人とわかる内容で中傷された「たかし」が、ネットのルールは守った方法で仕返しをしたものの、気持ちがすっきりしないという資料である。生徒たちは「ネット上のやりとりでは、相手を傷つける言葉を使わない」ということは知っていても、その時の感情でつい使ってしまうこともある。また、「相手に傷つけられたから、自分もやり返すんだ。」ということから起こる身近で現実的なトラブルを基に、本当にこれでよかったのかと、思いやりについて深く考えることができる資料である。

## 3 指導方針

- 情報モラルに関わることとして、読み物資料の冒頭では、無料通話アプリを利用する中学生の気持ちに触れることで、スマートフォン等の使い方について、自分自身を振り返られるようにする。
- 読み物資料ではあるが、無料通話アプリでのやりとりについては、スマートフォンをイメージした画面を提示する。メッセージのやりとりのようすを示すなど、生徒が日常で使っているものを用いることで、身近で起こりうることとして、資料の登場人物と自分とを重ね合わせて考えられるようにする。
- 無料通話アプリのやりとりを、台詞のみの役割演技で交代しながら表現することで、価値の理解を深められるようにする。
- 展開前段では、情報モラルの知識についても扱う。ただし、道徳の時間である本時のねらいに迫るために、限定的に扱う。直接本人の名前は挙げないものの、本人が特定できるやり方で中傷するこ

とはマナー違反であることや、公開されているブログのアドレスのリンクを貼っただけだが、相手を攻撃する目的で行うことはマナー違反になることを押さえるようにする。

○展開後段では、ネットワークを利用する上での思いやりと自分との関わりについて、生活を振り返り、今後の思いや課題を自覚できるようにする。

#### 4 研究との関わり

本研究では、「道徳の時間のための情報モラル自作資料集の作成と活用」を研究主題とし、「生徒の道徳的価値の自覚を深める指導の充実を目指して」を副主題に研究を進めてきている。生徒にとって身近に感じる情報モラルに関わる資料を活用しながらも、問題の根底にある道徳的価値について、考えが深められたかどうかを検証する。

#### 5 情報モラル教育との関わり

本時に関わる情報モラル教育の指導事項は、「すべての先生のための『情報モラル』指導実践キックオフガイド」(2007)と、それを基に作成された「情報モラル教育実践ガイダンス」(2011)に示された、「心を磨く領域」の「情報社会の倫理」分野、「a4-1情報社会における自分の責任や義務について考え、行動する」「b4-1個人の権利(人格権、肖像権など)を尊重する」「b4-2著作権などの知的財産権を尊重する」である。

#### 6 本時の展開

- (1) **ねらい** 他の人との関わりについて、相手の立場に立って物事を捉えることの難しさと大切さを理解し、誰に対しても思いやりの心を持って接していこうとする態度を育てる。
- (2) **準備** プレゼンテーション資料 大型テレビ ワークシート
- (3) **展開**

学習活動	時間	主な発問 (・予想される児童の反応)	支援及び指導上の留意点 (太字は情報モラルに関わる内容)
1 本時の学習課題をつかむ。	5分	○思いやりについてどう思っているか。 ・誰に対しても思いやりの心を持って接した方がいい。 ・意地悪な人には、思いやりの心を持たなくてもいい。	○生徒の意識や身近な問題について、事前のアンケート結果から、価値への方向付けを図る。
2 資料「これでよかったのか？」をもとに、登場人物と自分を重ね合わせながら話し合う。	30分	○無料通話アプリでやりとりをしていた四人になって、トークをしてみよう。思いやりがないと感じるのは、それぞれどんなところですか。 ・A子は、名前を出してはいなくても、みんなが見るところでたかしの悪口を言っている。 ・B子はA子を止めないで話を合せている。 ・C男は名前を聞き出そうとしている。 ・D男は名前を伏せながらも、みんなにわかるようにしている。 ○たかしに声を掛けてきたE子について、思いやりがないと感じるのはどんなところですか。 ・嫌な思いをしているA子を見て喜ん	○四人のネット上のやりとりを台詞の役割演技にし、交代で演じることで、思いやりを持つことの大切さ(価値理解)と、自分が怒っている時には、傷つけることをいってしまったたり、つい相手に合わせてしまったりする弱さ(人間理解、他者理解)に目を向けさせるようにする。 ○ <b>情報モラルとして、A子だけでなく四人全員の行為は思いやりがなく、ネット上のマナー違反であることを確認する。</b> ○ <b>たかしの行為は、ネット上のルールを守ってはいらぬものの、相手を傷つける目的であったため、マナー違反であることを確認する。</b>

		<p>でいるところ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わざわざたかしにお礼を言っているところ。</li> </ul> <p>◎たかしがすっきりしないのは、どうしてだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思っていた以上に騒ぎが大きくなってしまったから。</li> <li>・A子が笑いものになってしまったから。</li> <li>・自分のせいで、A子が嫌な思いをしているから。</li> </ul>	<p>○人が困っている姿を見て喜んでしまう人間の弱さ（人間理解）にも気付けるようにする。</p> <p>○思いやりのない行為に対して、思いやりのない対応をしても、A子の立場で考えてみるとすっきりしないたかしの気持ちに共感できるようにする。</p>
3 本時で考えたことを振り返り、発表する。	10分	<p>◎ネットワーク上でのコミュニケーションにおいて、思いやりのない不適切な書き込みを防ぐためには、どのようなことが大切だと思いますか。これまでの自分のことも振り返りながら考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで、言われたら言い返してしまっていた。相手が嫌な思いをするのは自分も嫌な気持ちになるということを忘れないで、感情にまかせて文字を打たないようにすればいい。</li> </ul>	<p>○目に見えない相手の立場に立って関わっていくことの大切さを理解し、よりよいネットワーク上でのコミュニケーションをとろうとする気持ちについて振り返られるようにする。</p>
4 私たちの道徳をむ。	5分	<p>○私たちの道徳54ページを読む。</p>	<p>○思いやりは、単なる哀れみや自己満足とはちがうことを捉えさせ、相手の立場に立って関わっていかうとする態度を育てたい。</p>

「これでよかったのかな？」(1/2)

たかしは、不思議に思っていた。

スマホでSNSをやっていると、とにかく疲れる。短い文章だから、みんなの気持ちを読み取るのはたいへんだ。自分だけが誤解をしているかもしれないし、文字やニュアンスに気をつけないと、相手につまづかえられないことだつてある。そんなことは知っている。だって実際に自分がトラブルに遭ったことがあるから。でも、だからといって、いちいち打つたびに慎重になんかなれやしない。大切なのはスピードだから、その時のノリと雰囲気を読み取るし、書き込む。小さな問題はあるかもしれないけれど、なんとなく、みんなとのやりとりで収まっている。だから大丈夫。ニュースとかでやっているいじめとかにはならない。ニュースに出るのは、本当にひどいことをしている人たちであつて、自分たちとは関係のない中学生だ。そんないじめは自分の周りではしていないし、そこまで馬鹿なことなんか誰もしないと思う。ただ、みんなの発言に合わせるのは疲れることもあるし、くだらない会話に参加するのも疲れる。グループに入っているくせに、既読スルーしているやつがいることには、いつもではないけれど、イヤイヤすることはある。

「そんなに疲れるのなら、SNSなんかやめてしまおう」と思うこともある。確かにその通りなのだけれど、自分自身が時々発散したいときがあるし、自分の発言にみんなが賛同してくれると気持ちいいことも事実だ。ついついトークに夢中になってしまつてしまつてあるし、気付けば深夜になっていることもしばしばある。みんなもやっていることだから別にいいけど。それに、気をつけていても、自分の発言が時々攻撃的になってしまつて、後で反省することもある。でも、それだつてみんながやっていることだから。

なんでイヤイヤするんだろう？とて考えてみてもよくわからない。前は、イヤイヤするのは、SNSの最中に親に話しかけられるからだと思つていただけで、そうじゃなかつた。親に言わせるし、どうやら自分は、SNSをしながらイヤイヤしているらしい。それとSNSをやめられない理由はもう一つある。もしやめたとして、自分の知らないところでも自分のことを悪く言われていたらと想像すると、それだけは避けたいと言われたくもない。結局何でズルズルとやり続けているんだろうと不思議な気持ちになる。でも、そんなことを考えるのは一瞬だし、家に帰ればスマホは手放せない。みんなもやっていることだから。

だから今日も家に帰つて一段落したところまで、クラスのSNSグループ画面を開いてみた。

そして、びっくりした。



「これでよかったのかな？」

「クラスのグループSNS」

A子 ほんまうざい！  
あんただよ！  
あーほんまきもいー

B子 え、わたし？！

C男 誰のこと？教えて

D男 た××のことだよね

A子 あいつに決まっているでしょ  
誰とは言わないけど  
とにかく気に入らない  
ムカツクー

B子 A子は今日、あいつとやりあっていたものね

A子 あいつ気に入らない 気に入らない 気に入らない  
あームカツクー

A子 くたばっちまえ

B子 発散できた？

A子 はい！ここまで！すっきりしたから終了！

「これでよかったのかな？」(2/2)



今日、学校で俺はA子と口論になった。原因は些細なことだけれど、掃除の時間にちよつとした言い合いになった。

でも、すぐに終わったはずなのに……。

A子の明らかなマナー違反。だって、確かに誰のことは明言していないけれども、俺のことだってことは明らか。みんな掃除の時間のことは知っているから、特定されている。悔しい。なんとか仕返しをしたい。でも、俺はA子とはちがう。こつちはちゃんとルールは守りたい。あとで俺が悪者になるのは嫌だから。とんちを効かせて懲らしめてやるつ。俺は被害者だぜ。

俺は、A子が自分のブログに本人の変顔をアップしているのを思い出した。この画像をみんなに流してやるつ。ただ、本人が公開している画像でも、コピーだとよくないから、アドレスを紹介だ。クラスのSNSグループに、A子の変顔が載っているブログのリンクを貼るつ。

「こんな画像を見つけました！」

すぐにみんなが食いついた。

俺はアドレスを紹介しただけだ。問題はない。



その後どうなったかというつ、A子は慌ててブログの変顔画像を削除した。でも、すでに他の生徒が画像をコピーしてしてどんどん拡散していった。もともとは自分で公開していた画像でも、学校の多くの生徒が見ることになって、結局A子は笑いの対象となった。

しばらくしてから、同じクラスのE子が、俺に話しかけてきた。

「ありがとね A子つて前から気に入らなかつたんだ。調子に乗っているし、思いやりなんて一つもないしね。たかしのおかげでホントすつかりしたよ。えまーみるだよね。たかしは、ブログのアドレスを紹介しただけのものね。他の画像を拡散させた奴らだつて、別に問題ないでしょ。もともとはA子のブログで公開されたものなんだから。」

仕返しは成功したし、俺はその時のルールも守れたのだから何も問題はない。でも……なんだか、すつかりしない。

# 「これでよかったのかな？」

組 番 氏 名

月 日

思いやりの心を持って他の人と接するとはどのようなことが考えよう



- 仕返しが成功したのに、たかしがすつきりしないのは、どうしてでしょうか。

-----

-----

-----

- ネットワーク上でのコミュニケーションにおいて、思いやりのない不適切な書き込みを防ぐためには、どのようなことが大切なのだろうか。これまでの自分のことも振り返りながら書きましょう。

-----

-----

-----

-----

- 家の人からのコメントを書きましょう。

今日の振り返り

A当てはまる Bどちらかといえば当てはまる Cどちらかといえば当てはまらない D当てはまらない

私は、この時間、発言しようとしていた。	A	B	C	D
私は、この時間、しっかり考えようとしていた。	A	B	C	D
私は、この時間、友達の発言をしっかりと聞き取っていた。	A	B	C	D